

2021年連続公開講演会 「法華経展とその世界——思想と伝播の系譜から」

<開催趣旨>

「法華経——平和と共生のメッセージ」展（以下、法華経展）は、公益財団法人東洋哲学研究所が企画・制作し、2006年より始まった展示会です。法華経展の内容は、法華経の伝播の系譜の紹介だけでなく、その教えの内容、信仰に燃え弘法に尽くした人々の歩みを、具体的な写本やパネル画像、文物、映像などを駆使して紹介しています。展示の基軸は創立者・池田大作先生が現代社会に生きる人々に即した形で展開した法華経観であり、自身の書籍である『法華経の智慧』『東洋の智慧を語る』『東洋の哲学を語る』等に基づいたものです。万人に尊極の仏性が具わっているとする思想を基盤とし、人類への限りない信頼と慈悲が脈打つ法華経を、時代的・空間的な制約を超えて蘇らせた池田先生の法華経観によって展示会は制作されました。法華経展は世界各地で能動的に受容され、2006年の香港でのスタート以来、アジアのインド、韓国、インドネシア、タイをはじめ、欧州のイギリス、スペイン、南米のブラジル、アルゼンチンなど海外と、国内の東京、神戸、福岡、札幌の4都市で開催されました。世界17カ国・地域での法華経展の鑑賞は100万人に迫ります。単独の経典を取り上げた展示会でこれほどの鑑賞者数にのぼる展示は国内外に類例がなく、民族性や宗教性を超えて異文化・多様性を学ぶ教育的な効果も指摘されています。2021年連続公開講演会では、15周年を迎えた法華経展の学術的価値や展示内容を踏まえたうえで、世界で受容される法華経の思想性・哲学性などについて論じ深める場としていきたいと考えます。

<講演会>

講演会講師は「Zoom」にて発表をし、その模様を「YouTube」でライブ配信（限定公開）を行います。また、講演会開始前には連続公開講演会の主題にある「法華経——平和と共生のメッセージ」展の紹介を行います。

<講演者>14時～16時

- (1) 古川洋平 氏（東洋哲学研究所研究員、専門：初期仏教）
テーマ：初期仏教から法華経へ——仏教普遍化への道
日程：11月20日（土）
- (2) 末木文美士 氏（東京大学名誉教授、専門：仏教学、日本仏教）
テーマ：法華経の系譜——インドから日本へ
日程：11月27日（土）
- (3) 下田正弘 氏（東京大学教授、専門：印度哲学、仏教学）
テーマ：聖典としての仏教——法華経へ、そして法華経から——
日程：12月4日（土）
- (4) ダシュ・ショバ・ラニ 氏（大谷大学教授、専門：貝葉写本研究、インド学、仏教学）
テーマ：写本研究から見える経典崇拜
日程：12月18日（土）